

宇陀市

宇陀市が目指す子育て環境

R元. 8. 26 第2回奈良県・市町村長サミット資料

宇陀市は少子高齢化が進行し、年少人口が減少傾向で低年齢になるほど人口が少ない傾向にあります。子どもたちが健やかに育ち、市の自然や歴史・文化に誇りを持ち、夢と希望にあふれる人生を歩めるよう、魅力多いまちづくりに取り組み「**子どもたちの笑顔あふれる 子育てしやすいまち 宇陀市**」の実現を目指しています。

1 基本データ <県記載>

- ・順位は県内市町村の降順
- ・カッコ書きは県全体の数値

①人口増減率（H11年4月～H30年12月・約20年間）					
増減率	順位	うち自然増減		うち社会増減	
		増減率	順位	増減率	順位
▲27.1% (▲6.2%)	25位	▲12.7% (▲2.1%)	23位	▲14.4% (▲4.1%)	26位
②合計特殊出生率			③有配偶出生率		
H20～24年(年率)	順位	対H15～19年(年率)増減	(15～49歳女性有配偶者1,000人あたりの出生数)		
			H27年	順位	
1.13 (1.29)	35位	▲0.02 (+0.06)	66.1 (74.4)	27位	
④出生数(人)		⑤年少人口割合(15歳未満)			
H30年	H30年10月	順位	対25年10月増減		
108 (8,947)	9.2% (12.0%)	25位	▲0.5ポイント (▲0.7ポイント)		
⑥子育て世代割合(25～44歳)					
H30年10月	順位	対25年10月増減			
16.0% (20.7%)	27位	▲3.8ポイント (▲3.8ポイント)			

2 子育て家庭の現状と支援に関する課題

- ① 少子化に伴い、子どもを通じた集まりの場が縮小するといった影響が危惧され、地域の子育て力の維持や子育て支援のサポートの充実が課題である。
- ② 女性の就業率向上のため、仕事と子育てのバランス・多様なニーズに対応できる保育サービス等を踏まえ、安心して産み育てられる子育て支援策の検討。
- ③ 生産年齢人口の転出者が多く、子育て家庭の定住促進が課題である。

3 子育て家庭への支援に関する基本的な考え方(目指していること)

- ① 結婚・出産・子育ての切れ目のない支援の充実。
- ② 子育て家庭が暮らしやすい宇陀市への移住・定住の促進強化。
- ③ 子どもが心身ともに健やかに成長する教育環境の充実。

4 子育て家庭への支援に関する特徴的な取組

- ① 小学1年生・中学1年生の児童がいる家庭で市内在住の保護者に「ぴかぴか1年生応援給付金」としてウッピー商品券を支給。
- ② 新生児の誕生祝いに「出産祝い金」、3人以上の子どもを養育する家庭に「トリプルチルドレン応援給付金」としてウッピー商品券を支給。
- ③ 1歳の誕生日を迎える子どもへ、絵本3冊をプレゼントする「ファーストバースデー」事業を実施。

5 多様な主体による子育て支援の取組

- ① 母子保健事業の充実のため、電話・面談・訪問等による個別相談等を行い、妊娠期からの継続した子育て相談体制に努めている。
- ② 未就園児の心身の発達を保健師等が個別対応し、家族と一緒にお子様の成長を考える療育教室(こあら教室)を実施。
- ③ 家庭相談員に社会福祉士を配置し、スクールソーシャルワーカーとして学校への兼務体制を検討し、教育と福祉の連携を図る。

詳しくは 宇陀市ホームページ <http://www.city.uda.nara.jp>